

## ⚠️ 災害が起きてしまったときは

### 在宅避難、ご存じですか

災害が起きたとき、必要なのは避難です。避難とは「難(なん)」を「避(さ)」けることです。被害がなく、安全が確保できさえすれば、指定避難所に行かず自宅です生活するのも、避難となります。在宅避難への備えも進めてみませんか。

※行政や自治会からの情報を収集するため、定期的に指定避難所に行きましょう。

**【在宅避難用防災グッズ】** ※チェックしてみましょう。

水 非常食 携帯トイレ

ランタン・電池 新聞紙 ポリ袋

ラップ ウエットタオル (からだ拭き用)



ウエットティッシュ (口腔ケア用)

カセットコンロ・ボンベ

※在宅避難では特に、水、食料がすぐなくなります。常温保存できるものを多めに用意しましょう。

## ◆ 災害時の緊急輸送道路確保へのご協力をお願いします

★建築開発課 ☎25-1140

市内には、県指定と市指定の緊急輸送道路があります。地震による建築物・塀の倒壊や災害廃棄物によって緊急輸送道路をふさがないように、沿線地域の不燃化、耐震化にご協力をお願いします。

| 凡例 |            |
|----|------------|
|    | 県指定の緊急輸送道路 |
|    | 市指定の緊急輸送道路 |



### 緊急輸送道路ってなに？

緊急輸送道路とは、災害が発生した直後から避難・救助、物資の供給などの応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路です。

具体的には、高速自動車国道、一般国道や、これらを連結する幹線的な道路が緊急輸送道路として指定されています。



★危機管理課 ☎25-1184

写真提供：国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所

## ⚠️ 「災害は起こるもの」として考える

### 写真やハザードマップなどでイメージする

上の写真は、令和元年に発生した台風19号の際の利根川の様子です。濁流が堤防を浸食し、住宅などに迫る勢いです。

こうした上空からの写真だけでなく、日頃からハ

ザードマップを見るなど、浸水の可能性や土砂災害の危険性がないか確認し、起きてしまった場合にどう対応するか、イメージしておきましょう。



### 日頃の備え～できることからやってみよう～

#### その1～非常食のススメ～

おいしいもの、好きなものが食べられる、ということは避難生活を送る際、重要なポイントとなります。ローリングストック法を活用して非常食を備蓄してみませんか。

#### やってみよう！ローリングストック法

①ベースとなる3日(9食)

分の非常食を用意する。

②さらにもう1日(3食)分を追加、12食分とする。

③1か月に1回を目安に1食分を食べる。食べた分は買い足して補充する。



④③を繰り返す。1年(12か月)で最初に用意した分が買い足した分と入れ替わる。  
※賞味期限が1年のものでよいため、選べる非常食の幅が広がります。

#### その2～おうちキャンプのススメ～

家の中でテントを張ったり、寝袋やランタンを用意するなど、電気・ガス・水道といったライフラインを使わない生活をしてみましょう。

また、在宅避難(13ページ参照)を想定して、家にあるものが活用できないか検討してみましょう。

おうちキャンプであれば、比較的簡単に、楽しく体験できます。ぜひ一度、やってみてください。

